



スローガン
「幸せ
あふれる
北小」

～私も幸せみんなも幸せ～

はぴねす

時津町立時津北小学校
学校だより R7第10号

令和7年10月31日
文責：校長 今井大輔

親子でふれ合う良い機会に：～

実際の秋を迎え、10月は各学年で工夫を凝らした親子レクリエーションが実施されました。ご参加いただいた皆様の笑顔あふれる様子から、大変充実した時間となったことがうかがえます。

○10月3日(金) 3年生

長崎商業高校から講師の先生をお招きし、特別授業として「ラオスにおける教育活動」についてご講義いただきました。異文化の教育実践に触れながら、親子で体を動かす楽しい活動も取り入れ、日本とは異なる文化への理解を深める貴重な機会となりました。

○10月8日(水) 6年生

「ながさきファミリープログラム」を実施しました。これは、参加者同士が自由な雰囲気の中で語り合い、共感し、つながりながら学べる参加型学習プログラムです。心がほっこり温まるような、和やかで充実した学びの場となりました。

○10月20日(月) 5年生

「ふれあいヨガ」を実施しました。ヨガのインストラクターを講師にお招きし、親子で一緒に身体を動かしました。この頃からは気温も下がり、運動しやすい季節となりました。



○10月22日(水) 2年生

コスモスポーツさんを講師にお招きし、楽しく運動に取り組みました。主に子供たちの運動が中心でしたが、難しい動きに挑戦してくさん見ることができました。

○10月23日(木) 4年生

長崎マブラス「フリースタイル」さんをお招きし、親子でブラスバンドの生演奏を鑑賞しました。様々な楽器に触れ、演奏に合わせ一緒に歌うなど、心が弾み楽しいひとときとなりました。

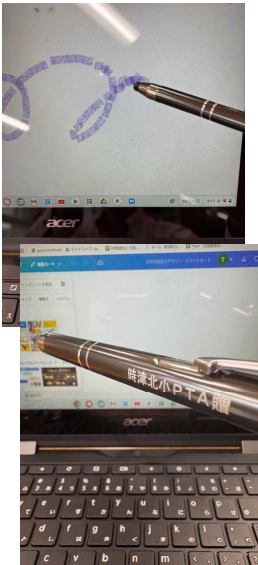


○10月30日(木) 1年生

トムテのおもちや箱さんにご協力をいただき、木製ブロック「カプラ」で遊びました。カプラを使った遊びを通して、親子のコミュニケーションを深めるとともに、想像力を高める活動となりました。作品が崩れるかどうかの「ハラハラドキドキ」も交えながら、夢中になって楽しむ姿が見られました。どの学年レクにもたくさんの保護者に参加していただき、本当にありがとうございました。そして、企画運営をしていただいた役員の皆様にもお礼申し上げます。

北小PTAからの贈り物

例年、新1年生と転入生へは、北小PTAより、学習者用端末末機のタッチペンをいただいています。今年度も、新しく入学・転入された児童の皆さんへ、一人一本ずついただきました。1年生も2学期から本格的に端末機を使用していますので、大切に活用させていただきます。誠にありがとうございます。



ついでに

秋はイベントや行楽のシーズン。長崎くんちを筆頭に、各地で祭りが催されています。私も先日、初めて日並秋祭りに参加させてもらいました。10月19日、子供会のご奉納みこしや蛇踊り、相撲だけでなく、地域の方々による出店もあって、会場はたいへんな賑わいでした。楽しい時間を過ごすことができました。11月3日には、子々川くんちも予定されており、浦安の舞や子供相撲など、今からとても楽しみです。

これらの祭りは、長い歴史の中で受け継がれてきたものだ。今回参加して改めて強く感じたのは、その伝統を支えている人々の努力や苦労が、あつてこそ、祭り成り立つているということだ。私事だが、私は左底の区長を務めている。そのため、ここの地区行事を運営する裏方の苦労は、痛いほどよく分かる。役員の方々も、地域住民の未来を担う子どもたちのために、「地域住民みんなのため」という熱い想いで尽力されているのだから、その道のりは決して楽ではない。しかし、毎月のように定例の役員会を開き、今回のような大きなイベントの前には、臨時の打ち合せに何度も集まる必要がある。もちろん、前日からの準備や、イベント後の片付けも伴う。今回の日並秋祭りは、町民運動会と時期が近く、準備は相当大変だったのではないかと、準備は自分自身が地区行事の運営側になってみて、改めて分かったことがある。それは、参加してくださった皆さんの笑顔を見られること、「ありがとう」「楽しかったよ」という声をかけてもらえることが、単に嬉しいうちでなく、大きな達成感と次への励みになるというのだ。これは、運営する立場になって初めて気づかされた、かけがえのない喜びである。

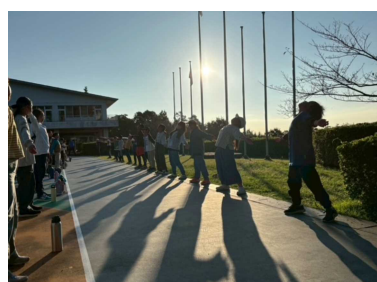
だからこそ、今後、私が地域の行事に参加させてもらう際には、運営してくださっている方々に対し、心からの感謝を込めて「楽しかった」「ありがとう」という気持ちが、たいへん思っている。地域に息づく想いと、それを支える人々の労苦に、私たち一人ひとりが思いを馳せたい。

学びあふれる宿泊学習

文責 教頭 橋本 薫

10月9日、10日、5年生は、諫早青少年自然の家で宿泊学習を行いました。「**自ら考動×チームで協力=みんなが楽しい**」というテーマどおり、充実した2日間となりました。

2日目のI-CAP（多様な体験活動を通して、集団や個人が成長するための教育プログラム）では、体ほぐしや、アイコンタクトで行う活動、協力してボールを運ぶ活動などを行いました。チームで行うことで、友達の動きや表情を意識したり、一緒に喜んだりする姿が見られました。歓声から、どの班の関係性も良いことが伝わってきました。ウォークラリーでは、地図を頼りに約2時間、山の中を歩きました。順調な班も、そうではない班もありましたが、素晴らしかったのは、どの班も、友達を気遣う言葉をかけたり、励まし合ったりしていたことです。大変気持ちのよい姿でした。



2日目の野外炊飯では、各学級の班編成を6班から5班に変更する必要に迫られました。（この事態は大変申し訳ありませんでした。）前日に班長会議で投げかけると、班長たちが、「だったら…」「じゃあ…」等、自分たちで話し合い、解決策を導きました。翌日、全員に経緯と班編成の結果を伝え、誰もが穏やかに受け入れたことも天晴でした。一方、カレー作りでは、火おこしや、じゃがいも・ニンジン皮むきに手こずりました。でも諦めず、子どもたちはやりとげました。自分たちで作ったカレーは最高です。もりもり食べて完食しました。



この他にも、友達との食事、入浴、星空（月や土星）観測、朝の集い等、多くの思い出ができました。「楽しかった。」と5年生は言いました。「見通しをもって、これからの学校生活に生かしたい。」とも言っていました。5年生の今後の活躍が楽しみです。

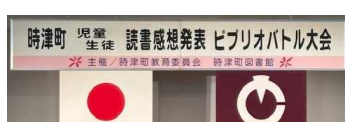


第42回読書感想発表大会

10月25日（土）、時津町公民館にて行われた第42回読書感想発表ビブリオバトル大会に、本校から2名の児童が代表として出場しました。

2年生の平瀬美琴さんは、「トットちゃんの本からまなんだこと」（『トットちゃん』の15つぶのだいず）、そして6年生の平野明守生さんは、『わからぬ博士の愛した数式』という題名で、大勢の聴衆の前で発表することができました。

当日までの二人の頑張りには、心から拍手を送りたいと思います。感想文の内容が素晴らしいのはもちろんですが、その裏には、家や学校で時間を惜しまず何度も暗唱できるまで練習を重ねる努力がありました。困難なことに頑張ろうとする強い気持ちと、その努力を積み重ねた姿は、輝きそのものでした。



イングリッシュ・スピーチコンテスト

10月30日（木）に時津町公民館において「長崎県イングリッシュ・スピーチコンテスト時津町代表選考会」が行われました。北小からは、3名の児童が出場しました。

5年生の本山花さんは「My brother's instrument」、6年生の内山櫻さんは「Basketball」、そして今田陽香理さんは「Go for the Black Belt」と、それぞれ個性あふれるテーマで堂々とスピーチを披露しました。

3名とも、とても流ちょうな発音で、身振り手振りのジェスチャーまで交え、練習の成果を存分に発揮することができました。聞いている人の心を引く、それぞれの趣味や個性が光る素晴らしい発表でした。

なお、3名はコンテストに先立ち、27日の朝の時間には全校児童の前でもリハールとして発表を行い、みんなに感動を与えてくれました。

